

第57回沖縄県高等学校野球春季大会

平成22年3月21日（日）～ 4月2日（金）

主催：沖縄県高等学校野球連盟

共催：琉球新報社

会場：北谷公園野球場

宜野湾市立野球場

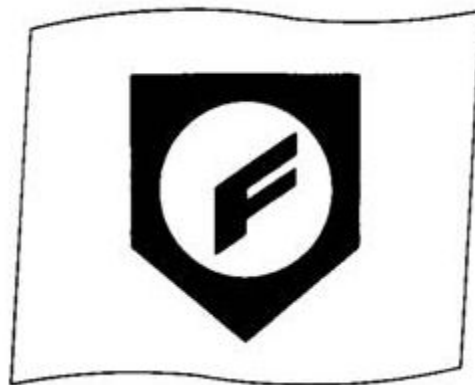
浦添市民球場

沖縄市野球場

後援：沖縄県教育委員会

朝日新聞社

大会要項



沖縄県高等学校野球連盟

第 5 7 回 沖 縄 県 高 等 学 校 野 球 春 季 大 会

大 会 要 項

主 催 沖 縄 県 高 等 学 校 野 球 連 盟
共 催 琉 球 新 報 社
後 援 沖 縄 県 教 育 委 員 会
朝 日 新 聞 社

1. 期 日 平成 2 2 年 3 月 2 1 日 (日) ～ 4 月 2 日 (金)
2. 会 場 北 谷 公 園 野 球 場 北 谷 町 字 美 浜 2 番 地 (TEL098-926-2084)
宜 野 湾 市 立 野 球 場 宜 野 湾 市 真 志 喜 4 - 2 - 1 (TEL098-897-2755)
浦 添 市 民 球 場 浦 添 市 仲 間 1 1 5 0 (TEL098-876-5056)
沖 縄 市 野 球 場 沖 縄 市 諸 見 里 2 - 1 - 1 (TEL098-933-9422)
3. 大会申し込み 本大会に参加を希望する加盟校は、沖縄県高野連 HP (<http://www.kouyaren-as.open.ed.jp/>) に掲載されている所定の選手資格証明書を 10 部 (うち 9 部はコピー可。押印はコピーした後に行うこと。) 作成し下記宛に提出して下さい。◎印なども忘れずに記入して下さい。パソコンなどで独自に作成した証明書を提出した場合は、再提出をお願いすることになりますのでご注意ください。

提出先 〒904-0035 沖縄市南桃原 1-10-1 県立 球陽高等学校内
沖縄県高等学校野球連盟 理事長 新垣 清貴 宛
4. 申し込締切り 平成 2 2 年 3 月 5 日 (金) 正午までに提出、以後は理由を問わず受け付けません。
5. 抽 選 会 平成 2 2 年 3 月 8 日 (月) 午後 2 時 会場 : 北中城村立中央公民館
①参加者は各参加校の責任教師、監督、主将、大会役員。
②抽選に当たってはシード制を採用する。(沖縄水産・糸満・浦添・浦添商業)
③開会式において、プラカード係を担当する人は、必ず出席して下さい。
(開会式の入場行進に備え、プラカード係は行進の練習を行います。)
6. 大会諸経費 ①入場整理券 (大人 500 円、中高生 200 円) をもって充当する。
②中高生の団体割引については、引率者を含む 20 名以上は 100 円とする。
③剰余金が生じたときは、本連盟運営費に繰り入れ、不足の時は同運営費から充当する。
7. 大会組織 及び運営 ①参加校は日本高等学校野球連盟に加盟している学校代表チームによって行う。
②主催者で運営委員会を組織し、大会運営に万全を期す。
③大会役員は運営委員会で適任者を選び委嘱する。審判委員は県高野連審判部が担当する。
8. 申込み後の 選手登録変更 登録選手の変更があるときは、開会式の前までに本連盟副理事長又吉 忠へ、所定の様式で 6 部提出して下さい。それ以後は受け付けません。必ず校長印と校医印を押して下さい。
9. 表彰及び派遣 ①優勝校へは賞状、優勝旗、優勝楯を授与する。
②準優勝校へは賞状、準優勝楯を授与する。
③本大会の優勝校は、福岡県で開催される 第 126 回九州地区高等学校野球大会 (4 月 24 日 (土) ～ 4 月 29 日 (木)) に出場させる。
④本大会の優勝校及び準優勝校は、第 82 回選抜高等学校野球大会の出場校とチャレンジマッチを行う。チャレンジマッチの 1 位校は、第 24 回愛媛親善交流試合に派遣する。
10. 開 会 式 平成 2 2 年 3 月 2 1 日 (日) 午前 9 時 北谷公園野球場
▼雨天時は、北谷公園屋内運動場で行う。
11. 閉 会 式 決勝戦終了後、優勝、準優勝の両校で行なう。

第57回沖縄県高等学校野球春季大会 細則

1. 試合規則は、2010年公認野球規則と大会特別規定により運営する。
2. 選手資格は、平成22年4月2日現在で満18才（平成4年4月2日以降の出生者）以下の者。
3. 大会期間中の不測の負傷または疾病にたいしては、応急の手当を施す他は主催者はその責任を負わない。
4. 第1試合の出場チームは、試合開始60分前には所定の球場に到着し、大会本部よりオーダー用紙を受け取り記入後、直ちに提出すること。その後放送により責任教師・主将は本部役員・審判委員の指示に従って攻守を決める。（オーダー用紙交換は試合開始30分前に行なう。）
5. 第2試合目以降の出場チームは、球場到着後、大会本部でオーダー用紙を受け取り、4回終了までに大会本部に提出すること。オーダー用紙交換は5回終了後に行なう。（放送を行なう）責任教師と主将は本部役員・審判委員の指示に従って攻守を決める。選手はいつでも試合ができるよう準備をしておくこと。
6. ベンチサイドは、2回戦までは抽選番号の若いチームを一塁側、3回戦以降は大会本部で予め決定する。ベンチには登録の責任教師1名、副責任教師1名、監督1名、選手20名、記録員1名の24名以内とする。
7. 責任教師か副責任教師がノックした後は、平服に着替えベンチに入ること。（高野連スタッフシャツも可）
8. (1) 試合前のシートノックは7分間。ノック時の補助選手は5名までとし、必ずヘルメットを着用すること。又、登録メンバー以外は、ノックを受けたり守備に入ってはいけない。
(2) シートノック時のノッカーは、選手と同じユニホームを着用し、スパイク、または黒のシューズとする。
9. 記録員は男女にかかわらず、自校の制服を着用すること。複数の記録員のいる場合は毎試合代わってもよい。シートノックの補助員は野球のユニホームを着用すること。
10. 打者・走者ともに危険防止のため、必ずSGマーク（経産省認可）両耳付きヘルメットを着用すること。
11. 捕手は防護用ヘルメット（SGマーク付）とスロートガード（のど部分の防護具）、カップを必ず使用すること。また、練習時を含め、捕手は座って投球を受けるときは必ず捕手用具一式を着用すること。
12. 試合中、攻守交代は全力疾走に徹すること。
13. 打者は打順がきたら、速やかに打者席に入り打撃が完了するまで打者席に止まること。攻撃側の選手は、次打者・ランナーコーチ以外はベンチから出ないこと。次打者席には、必ず次打者が入り、投手が投球姿勢に入ったら素振りを止め、膝をついて低い姿勢で待機すること。
14. ベンチ内のメガホンは1個のみとする。（監督のみ使用）
15. 球場内でのウォーミングアップの際、スパイクの着用はシートノックからとする。また、試合用のユニホームを着用することとする。但し、第1試合のチームは統一したアップシャツでも可とする。人員は25名以内とする。なお、危険防止の為打撃練習のフリーバッティング、ハーフバッティングは禁止する。
16. 野球用具の使用については、日本高等学校野球連盟の用具使用制限に適合したものを使用すること。

《応援団について》

1. 応援は高校野球にふさわしいものであること。品位と節度をもったものでなければならない。
2. 大会期間中の応援団の行動は、責任教師がその責任を負う。
3. 応援団の校章旗・横断幕等はスタンドの後面に掲げること。
4. 個人名を記入したノボリやテープ・紙ふぶき、校名の入ったノボリ（桃太郎旗）は禁止する。
5. プラスバンド以外の太鼓については、洋太鼓・和太鼓いずれかを1個とする。
6. 応援団は、試合中は場内の整理、試合終了後はスタンドの清掃に協力する。

大会特別規定

1. シートノックは試合前、大会本部の指示に従い行うこと。制限時間は7分間とする。
但し、時間の都合で、短縮または行わないこともある。
シートノックの補助員5名以内と補助ノッカー1名を認める。
2. 試合が延長戦に入った場合は、15回で打ち切り、後日再試合とする後日再試合を行なう場合は原則として第1試合とするが、選手の疲労度や日程の関係で試合順序を主催者で変更することもある。
3. 試合はトーナメント方式で行なう。
4. 本大会では、コールドゲームを次のとおり定める。
 - ① 得点差によるものは、5回以降10点以上、7回以降7点以上の得点差が生じた場合。
 - ② 降雨または日没、その他の事情で試合の続行が不可能になった場合は、審判委員が試合の打ち切りを命じ、両チーム共に7回の攻撃を完了するか、或いは先攻チームが7回を終わった得点より後攻チームの6回までの得点が多い場合はコールドゲームを適用する。6回以前であればノーゲーム（再試合）とする。
 - ③ 決勝戦には、コールドゲームは適用しない。
5. 最終試合の開始時刻は日没2時間30分以前とするが、当日の天候その他を考慮して主催者が決定する。
また、日没15分前からは新しいイニングに入らない。
6. 降雨中断後、30分毎に判断し、グラウンド整備を行ない90分をめどに試合続行が可能な場合は再開し、不可能と判断した場合は中止とする。
7. 試合中に不慮の事故などが起き、一時走者を代える必要があると審判委員が判断した場合、臨時代走者を出すことができる。
「代走者は、試合に出場している選手に限られるが、投手と捕手を除いた選手のうち、打撃の完了した直後の者とする。但し、一連のプレー中にアウトになった打者・走者は投手と捕手を除いた選手のうち、その時の打者を除く打撃を完了した直後の者として取り扱わない。」
(参考) 臨時代走者の記録上の取り扱いは、盗塁、得点、残塁などすべてもとの走者の記録として扱われる。
8. 審判委員の判定には、絶対に抗議することはできない。但し、ルールの過ちがおきた場合は申し出ることができる。
9. 審判委員へのアピールは、必ず主将及びそのプレーの当事者が行なうこと。
10. 試合中トラブルが生じ、試合続行が不可能な場合は、トラブルを引き起こしたチームを敗者とし、没収試合とする。
11. 打者がバッターボックスに入る時や投手が審判委員からボールを受け取る際は、帽子を取って礼をする必要はない。
12. サイズの大きい走者用手袋の使用とグラブの手首へのリストバンド装着は認めない。

第57回沖縄県高等学校野球春季大会 開催細則

1. 開会式

- 1 平成22年 3月21日(日) 午前9時 北谷公園野球場
- 2 参加チームの登録された責任教師(正副)、監督及び選手は必ず参加すること。
- 3 各チームのユニホーム(帽子、アンダーシャツ、ストッキング、スパイク等を含む)は規定のとおり同一に揃える。
- 4 選手の背番号は登録のとおりにする。(正・副責任教師は平服またはスタッフTシャツでもよい)
- 5 選手は8時30分までにユニホーム着用のうえ、所定の場所でグラウンドに向かって右側から、前年度優勝校の浦添商業高校につづいて、抽選番号の若い順に各チーム主将を先頭にして身長の高い順に三列縦隊に整列する。以後は、選手係の指示に従う。
- 6 大会役員、審判委員、来賓及び各学校の校長、責任教師(正副)、監督は8時55分にバックネット前に整列する。
- 7 プラカード係は各学校のマネージャー(男女問わない)に依頼する。学校の制服、白靴、白ソックス、チームの帽子に統一する。(マネージャーのいないチームは男子部員も可)

開会式次第 司 会 中 村 健 (高野連総務部長)

- 1 ファンファレ
- 2 選手入場 選手係 嶺井政彦 (高野連技術部長)
(行進曲) 先導 大城康成 (高野連競技役員)
- 3 開会宣言 大会副会長 赤嶺研雄 (高野連副会長)
- 4 国旗並びに大会旗掲揚
- 5 優勝旗返還 () (中部商業高校野球部主将)
- 6 大会長挨拶 大会長 砂川恵重 (高野連会長)
- 7 共催団体挨拶 大会副会長 高嶺朝一 (琉球新報社代表取締役社長)
- 8 祝 辞 金武正八郎 (県教育委員会教育長)
- 9 選手宣誓 ©組み合わせ抽選会で、選手宣誓を希望する学校の主将が行う。
(選手宣誓を希望する主将が複数ときは抽選を行う)
※希望者がいないときは、宣誓クジを引き当てた学校の主将が行う。
- 10 閉式通告
- 11 選手退場
始球式(10時30分予定)

2. 閉会式

- 1 決勝戦終了後、優勝チーム、準優勝チーム、大会役員、審判委員、来賓で行う。
- 2 決勝戦が終わり次第、両チームの選手は投手板を中心にバックネットに向かって一列横隊に整列する。
- 3 大会役員、審判委員、来賓および両校の校長、責任教師(正副)、監督はバックネット前に整列する。

閉会式次第 司 会 中 村 健 (高野連総務部長)

- 1 開 会
- 2 成績発表
- 3 表 彰 大会長 砂川恵重 (高野連会長)
- 4 大会長挨拶 大会長 砂川恵重 (")
- 5 激励のことば 大会副会長 高嶺朝一 (琉球新報社代表取締役社長)
- 6 国旗並びに大会旗降納
- 7 閉会宣言 大会副会長 我如古清 (高野連副会長)

※閉会式後、優勝、準優勝チームはダイヤモンドを一周する

第 5 7 回 沖 繩 県 高 等 学 校 野 球 春 季 大 会 役 員

顧 問	新 垣 博 親 泊 安 徳 宮 里 景 眞 三 森 輝 久 (毎日新聞那覇支局長)	福 原 朝 悦 宜 野 座 嗣 郎 宮 城 明	佐 敷 興 勇 石 川 力 狩 俣 幸 夫	知 念 繁 夫 宮 本 春 正 金 武 正 八 郎 (県教育委員会教育長)	新 屋 太 郎 国 吉 真 介 後 藤 啓 文 (朝日新聞那覇総局長)
参 与	渡 嘉 敷 通 之 (県教育庁保健体育課長)	参 加 校 校 長			
大 会 長	砂 川 恵 重	コザ高校	(県高野連会長)		
大会副会長	玉 城 崇 赤 嶺 研 雄 我 如 古 清 後 藤 啓 文	浦 添 高 校 南 部 工 業 高 校 北 谷 高 校	(県高野連副会長) (県高野連副会長) (県高野連副会長) (朝日新聞那覇総局長)		
運 営 委 員 長 運 営 委 員 長 補 佐 運 営 副 委 員 長	新 垣 清 貴 又 吉 忠 當 銘 和 夫 高 良 雅 秀 福 原 修 宇 江 城 隆	球 陽 高 校 北 谷 高 校 美 里 工 業 高 校 小 禄 高 校 南 部 農 林 高 校 沖 繩 工 業 高 校	(県高野連理事長) (県高野連副理事長) (県高野連常任理事) (県高野連常任理事) (県高野連常任理事) (県高野連常任理事)		
運 営 委 員	中 村 健 石 川 (総務部長) 福 里 竜 也 那 覇 西 嘉 敷 節 西 原 久 保 田 修 首 里 東 (総務副部長) 嶺 井 政 彦 美 里 工 (技術部長) 野 原 潤 一 浦 添 高 安 剛 南 部 商 川 畑 三 矢 宜 野 湾 (技術副部長) 国 仲 吉 川 浦 添 工 (審判部長) 前 川 等 那 覇 平 良 博 志 球 陽 金 城 聡 南 部 商 (審判副部長) 知 名 淳 美 工 (情報記録部長) 外 間 勝 那 商 上 原 正 昭 沖 水 金 武 孝 代 球 陽 (情報記録副部長)				
競 技 役 員	高 江 洲 登 学 識 大 城 朝 啓 0 B 宮 里 義 浩 辺 土 名 濱 元 良 人 辺 土 名 伊 良 波 泰 北 山 宮 城 信 治 北 部 農 大 城 衛 本 部 龜 里 泰 之 本 部 奥 濱 正 名 護 金 城 武 史 名 護 山 城 学 名 商 工 仲 村 淳 名 商 工 玉 城 幸 哉 名 商 工 大 城 盛 隆 宜 野 座 東 亮 宜 野 座 大 城 浩 二 石 川 金 城 達 也 石 川 嘉 陽 宗 雄 前 原 山 城 明 男 読 谷 川 端 俊 一 前 原 上 間 理 博 与 勝 島 袋 捷 呼 与 勝 具 志 堅 興 律 中 部 農 仲 宗 根 寛 史 具 志 川 真 玉 橋 長 郎 具 商 當 山 清 実 具 商 眞 玉 橋 元 博 嘉 手 納 喜 友 名 司 嘉 手 納 名 渡 山 直 子 嘉 手 納 喜 瀬 民 男 美 来 工 神 里 武 弥 美 来 工 志 良 堂 哲 也 美 来 工 木 下 義 宣 美 里 工 徳 山 篤 史 コザ 宮 里 淳 北 谷 仲 川 和 充 美 里 池 宮 城 朗 美 里 天 願 恒 普 天 間 高 嶺 敏 康 普 天 間 田 原 伸 繁 北 中 城 田 里 友 哉 北 中 城 盛 根 一 美 中 部 商 宮 城 隼 人 中 部 商 比 嘉 秀 策 中 部 商 内 原 正 敦 中 部 商 富 川 盛 章 宜 野 湾 上 原 健 西 原 兼 島 兼 哲 西 原 町 原 尚 忠 首 里 外 間 一 先 首 里 大 城 純 陽 明 津 留 直 樹 陽 明 眞 栄 田 聡 興 南 砂 川 太 興 南 我 喜 屋 優 興 南 奥 田 誠 吾 那 覇 工 町 田 幸 男 那 覇 工 金 城 幸 伸 那 覇 工 新 田 伸 昭 薬 附 金 城 治 浦 添 工 大 川 基 樹 浦 添 工 神 谷 嘉 宗 浦 添 商 上 原 健 吾 浦 添 商 末 吉 昇 一 浦 添 商 瀬 名 波 幹 智 那 覇 国 瀬 底 智 樹 那 覇 平 良 隆 訓 那 覇 商 比 嘉 公 也 冲 尚 大 城 英 健 冲 尚 川 満 亨 冲 繩 工 大 城 栄 三 冲 繩 工 金 城 由 貴 子 冲 繩 工 新 垣 隆 夫 小 禄 阿 波 連 仁 小 禄 仲 里 真 澄 首 里 東 吉 田 達 也 首 里 東 照 屋 圭 二 郎 那 覇 西 島 袋 春 樹 豊 見 城 照 屋 拓 己 豊 見 城 山 里 貞 俊 豊 見 城 當 山 徳 一 豊 見 城 親 川 聖 知 念 上 原 伸 知 念 山 田 義 二 知 念 嘉 味 田 昌 代 南 部 農 親 泊 達 也 南 部 農 大 蔵 宗 元 南 風 原 糸 数 辰 信 南 風 原 大 城 康 成 南 部 工 宜 保 政 則 冲 水 新 垣 武 巳 冲 水 上 原 忠 糸 満 山 城 芳 則 糸 満 町 田 宗 毅 豊 南 宮 城 耕 治 豊 南 吉 元 嘉 邦 南 部 商 永 吉 隆 洋 向 陽 仲 里 武 史 向 陽 仲 宗 根 康 裕 八 重 山 島 袋 俊 哉 泡 瀬 特 浦 添 広 志 大 平 特 仲 村 加 代 子 大 平 特 山 下 守 朝 鏡 ケ 丘 屋 良 淳 行 政 岸 本 敬 博 物 館				

第 5 7 回 沖繩 県 高 等 学 校 野 球 春 季 大 会 審 判 員

審判委員長 国 仲 吉 川 (県 高 野 連 審 判 部 長)

審判副委員長 前 川 等 (県 高 野 連 副 審 判 部 長)

平 良 博 志 (県 高 野 連 副 審 判 部 長)

金 城 聡 (県 高 野 連 副 審 判 部 長)

審判員 沖繩 県 高 等 学 校 野 球 連 盟 審 判 部

国 仲 吉 川	前 川 等	平 良 博 志	金 城 聡
島 袋 恭 一	城 間 恒 雄	平 良 章 次	眞 玉 橋 元 博
譜 久 村 淳 一	金 城 哲 也	木 下 義 宣	平 良 永 次
大 庭 猛 義	比 嘉 安 孝	新 垣 清 貴	多 嘉 山 太

嘉 陽 宗 雄	大 城 清 三	新 垣 隆 夫	平 田 司
玉 代 勢 秀 人	眞 栄 田 章	久 高 唯 安	山 里 泉
仲 嶺 真 一	中 村 健	金 城 明	安 富 薰
吉 元 嘉 邦	沢 岷 安 邦	大 泊 克	座 喜 味 治

平 良 隆 訓	川 畑 三 矢	嶺 井 政 彦	大 城 建 胖
又 吉 忠	町 田 幸 男	上 間 理 博	高 安 剛
當 銘 正 則	新 崎 定 義	国 仲 直 彦	玉 城 茂 春
眞 栄 田 義 光	仲 嶺 眞 二 郎	親 川 聖	田 原 伸 繁

糸 数 辰 信	野 原 潤 一	宮 里 淳	川 満 亨
奥 田 誠 吾	福 里 竜 也	島 袋 俊 哉	具 志 堅 興
玉 城 健	眞 玉 橋 長 郎	田 里 亘 泰	外 間 勝
福 原 修	喜 瀬 民 男	伊 良 波	新 田 伸

山 城 芳 則	知 名 淳	玉 城 幸 哉	津 留 直 樹
屋 宜 充	天 願 恒	比 嘉 直 司	遠 越 学
照 屋 拓 己	大 城 康 成	上 原 健 吾	大 蔵 宗 元
嘉 数 節	金 城 達 也	屋 良 淳	大 城 康 弘

我 喜 屋 宗 彦	町 田 宗 毅	仲 里 眞 澄	上 原 浩
大 浜 拓 郎	山 里 貞 俊		

選手宣誓について(離島地区)

開会式における「選手宣誓」は立候補制にしています。抽選会において宣誓を行いたい主将に立候補をしてもらい、複数の立候補があるときは抽選を行い選手宣誓者の決定をいたします。

それに伴い、久米島、宮古地区、八重山地区について抽選会に出席できない者は、大会役員が「代理抽選」を行いますので、選手宣誓を希望する主将は下記「選手宣誓立候補届」に必要事項を記入のうえ提出して下さい。(抽選会に出席する学校は提出する必要はありません)

※ 提出は、第57回沖縄県高等学校野球春季大会「選手資格証明書」(申込み)に同封して下さい。

切り取り線

選手宣誓立候補届

2010年 月 日

沖縄県高等学校野球連盟
会長 砂川恵重殿

高等学校

野球部主将 氏名

(年生)

本校野球部主将が、第57回沖縄県高等学校野球春季大会の開会式で選手宣誓することを申し込みます。

学校名 _____ 高等学校

校長 _____ 校長印